

◆生産ラインの省人化をすすめたい

ブランクフィーダ

スタック積載の作業効率をよくしたい

AIDAの
ブランクフィーダで

積載作業効率アップにより省人化を実

■ お客様加工内容:自動車部品

【Before】

■ ご相談時の状況:

スタック数2つの往復台車を使用。

一つのスタックが空になると、その都度ブランク材を積載していた。

32回/8H、15分に1回の頻度、スタック積載専任作業が必要。

【対策】ロータリーインデックステーブル方式を導入

一度に10山の
積載が可能！



【After】

積載作業なしで2時間の連続生産が可能！

積載作業 32回/8H → 4回/8H。2時間に1回の頻度になった。

スタック積載専任作業が不要になり、複数ラインの兼任が可能になった！！

詳細は
お問合せください